

第28回ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権

7月15日～17日の3日間、福井県営体育館で日本新記録続出、熱戦となった。

女子M4の選手では、69kg級の林久子選手は、SQ150kg(M1～M4)、DL147.5kg(M2～M4) T372.5kg(M1～M4)の日本新記録で大活躍だった。76kg級の中島美代子選手は、SQ120kg、BP77.5kg、DL141kg、T338.5kgは、すべてM3とM4の日本新記録となった。70歳を過ぎて、ますますパワーアップしている。84kg級M3の高橋春美選手 SQ115kg、DL125kg、T300kgは、M2の記録もぬり変えた。この他、47kg級M2の藤原久美子選手、52kg級M4の石橋愛子選手、76kg級M2の山本奈津子選手、徳武恵美選手も日本新記録を出している。

男子では、74kg級M5の佐藤邦良選手が、SQ150kg、BP100kg、DL200kg、T450kgですべて日本新記録を出した。74kg級M3の伊藤学選手は、SQ230kgでM1～M3の日本新記録を出したが、74kg級井上雄介選手に240kgでM1の日本新記録は、数分後にぬり変えられた。しかし、DL245、T602.5kgで優勝、昨年のリベンジを果たした。74kg級M4の蜂須貢選手はT485kg、59kg級M4伊差川浩之選手はB107.5kgで日本新記録を出した。この他、66kg級M2の濱田成基選手、74kg級M1の大谷憲弘選手、74kg級M1の小泉安弘選手、83kg級M1の小早川渉選手、93kg級M1の須永裕介選手、105kg級M1の陣内秀聡選手、105kg級M2の岡本康央選手も日本新記録を出して活躍した。

マスターズ大会は、一般の大会に比べると、試合は、真剣に行うが、和気藹々としているところもある。1年に数回会うことを楽しみにして、試合後には一緒に食事に行ったり、お酒を飲んだりして楽しんでいる。「世界大会、一緒に行こうか。」「また、来年会いましょう。」という声が聞こえている。



＜優勝者アンケートより＞ *Fax 番号が違ってご迷惑をおかけしました。

・試合が近くなるといつも不安でいっぱいになります。ジムでいつも励ましてもらい、指導してもらうことが支えになり、今回初めて優勝できました。感謝でいっぱいです。(52kg 級 M2 岡本美樹)

・初めての大きな大会でした。過去2回出場した試合は、単独エントリーのため、自分の記録しか考えていませんでしたが、今回、まさかの1位が狙えるかもと最後に挑戦させてくれたトレーナーに心から感謝します。目標だった T250kg もクリアできて本当に嬉しいです。還暦万歳！(52kg 級 M3 今井滋美)

・SQ の第1試技から失敗して帰りたくなるほど悲しかったですが、諦めず DL まで頑張っ
てよかったです。師匠の野島さんに感謝しかありません。来年は、もっとトレーニングをし
て日本一になりたいと思います。(57kg 級 M2 橋本美佐子)

・去年は、初めて国体出場、マスターズクラシックパワーで優勝、アジア大会でも初出場
優勝できたので、今年は、初めて減量なしでパワーリフティングに専念しようと練習をして
います。いつもは、ボディービルがメインで、冬はパワー、夏はボディービルのフィットネ
ス系のコンテストという感じでした。実は、パワーリフティングは、体つくりのためでした。
ところが、重量が伸びてくる目標や楽しさは、ボディービルのコンテストとは違う楽しさ
を感じることができ、年齢を気にせず、自分に自信がもてるようになりました。今後とも競技
人口が増え、いくつになってもやれる競技だと多くの人に知って欲しいです。(69kg 級 M1
岩井知子)

・DL150kg をとりに来ましたが、佐賀での大会に続き、またもやとれませんでした。審判
の判定は2対1成功でしたが、判定がくつがえりました。まわりで見ておられた方々の声援
がとても心強かったです。とれなかった重量は、次回修正をして、再々チャレンジします。
年齢的には、難しいかもしれませんが・・・トータルは、一般のトップ3に近づけたような感
じがしました。JPA、スタッフの皆様、お世話になりありがとうございました。(69kg 級 M4
林久子)

・自己ベスト更新を目標にしていたのですが、自己ベスト更新と1位になれたことは、素直に
とてもうれしいです。素晴らしい会場での開催に感謝します。遠征の疲れもなく、ベストの
コンディションで挑むことができ、最高の大会でした。スタッフ、すべての方々に感謝いた
します。ありがとうございました。(76kg 級 M1 岩屋順子)

・まずは、大会関係者すべての皆様、本当にありがとうございました。SQ は、不調の中ま
ずまずの出来でした。BP は、肘など考えすぎて難しかったです。DL は、いつも脱力して
できるので楽しかったです。トータルも自己の日本新記録を更新できてよかったです。アナ
ウンスも大会を盛り上げてくれて、みんな楽しそうで、うれしかった。ありがとうございました。(76kg 級 M2 山本奈津子)

・コロナ、けが・・・「歩くな」「運動するな」と言われたのが、大会に出られるまでになりま
した。続けます。(59kg 級 M5 田畑真人)

・前回の大会は、自己記録 495kg でしたが、今回は、485kg に終わってしまいました。最後の DL215kg をあげていれば、T500kg で自己新記録更新でした。残念な結果になりました。

(59kg 級 M2 霜浦宣也)

・記録は、全くダメでしたが、勝てたから良しといたします。(59kg 級 M4 沖浦克治)

・SQ の日本新記録及び T600kg 以上を目標にトレーニングしてきたが、仕事等で大幅に体重が落ち、順調にピークを持っていくことができなかった。よって、スタートをさげて確実に優勝できるように試合にのぞんだ。結果、優勝という結果は残せたが、SQ の 1 本目深さの失敗や調整不足(全体的)で記録的に満足いく結果ではなかった。今後は、身体を休めつつ、今回の結果、内容を分析して次回の大会、そして、来年以降につなげていきたいと思えます。(66kg 級 M1 井戸豊)

・今回、団体優勝を狙うため、に階級を上げました。(74kg 級 M1 井上雄介)

・練習通りで何よりでした。昨年失格したので、ホッとしたところです。SQ の日本新記録 M1 ~ M3 まで瞬間的にとれたので最高でした。(74kg 級 M3 プロ伊藤)

・大会では、M2 の DL 日本新記録 225kg を目標に頑張りましたが、残念ながら失敗に終わりました。パワーリフティングは、昨年 11 月から始めて今回でまだ 2 回目でしたが、競技者みんなでお互いを応援する雰囲気がとても素晴らしいと思えます。今回は、良い経験ができましたので、次回も挑戦できるように練習に励みます。(120kg 超級 M2 徳山一郎)



素晴らしい会場で、多くの日本新記録、年齢を感じさせない試技、カッコいいマスターズの皆さんと福井県協会、JPA 関係者に感謝。「イケおじ(イケているおじさん)」という声が聞かれました。